

排出ガスの低減

2001年度製品EMS目標

道路運送車両の保安基準で規定された排出ガス規制、低排出ガス車認定制度、七都府市への対応車両に対し、自主基準値を定めて対応する。

低排出ガス車の導入拡大

国土交通省「低排出ガス車認定制度」適合車を2002年3月には124型式まで拡大し、生産台数比率は87%になりました。2005年を目標に、超-低排出ガスレベルを大部分の車種で達成すべく、一層開発を進めています。

2001年度低排出ガス車認定制度適合車の型式数と生産台数比率

区分	低減レベル	型式数 (生産台数比率)
良-低排出ガス車	平成12年 基準排出ガス 25%低減レベル	111 (78.5%)
優-低排出ガス車	平成12年 基準排出ガス 50%低減レベル	1 (0.2%)
超-低排出ガス車	平成12年 基準排出ガス 75%低減レベル	12 (8.2%)

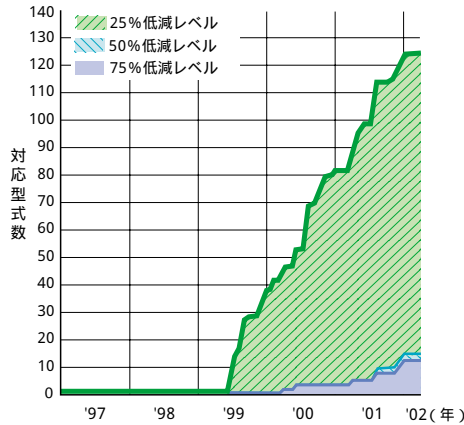
また、低排出ガス認定制度に適合するとともに、2010年燃費基準を達成した車種の生産台数割合は、50%に達しました。

低排出ガス車認定制度適合かつ
2010年燃費基準達成車の型式数と生産台数比率
(グリーン購入法適合車)

区分	型式数(生産台数比率)	
	2000年度	2001年度
良-低排出ガス車	22 (21.1%)	42 (44.3%)
優-低排出ガス車	0 (0.0%)	1 (0.2%)
超-低排出ガス車	1 (0.9%)	7 (5.8%)

ガソリン車の排出ガス浄化技術では、NOx吸蔵還元型三元触媒や空燃比補償装置、点火時期制御装置、燃料蒸発ガス抑制装置などの一層の最適化を図り、とくに冷間始動時の浄化性能を高めています。

ガソリン車低排出ガス規制レベル
対応型式数の推移



2001年度低排出ガス車認定制度適合車種

排ガスレベル	良-低排出ガス車
車種	型式数
bB OPEN DECK	1
WILL VS	4
アルテッツァジータ	4
イブサム	2
ウィンダム	1
カローラスパシオ	3
ガイア	1
クラウン	10
ナディア	2
ノア/ヴォクシー	2
ピスタ/ピスタアルデオ	2
プレビス/プログレ	2
プレミオ/アリオン	1
マーク ブリット	4
計	39

排ガスレベル	優-低排出ガス車
車種	型式数
クラウンマイルドハイブリッド	1
計	1

排ガスレベル	超-低排出ガス車
車種	型式数
エスティマハイブリッド	1
カムリ	2
ソアラ	1
ブラッツ	1
プレミオ/アリオン	3
ヴィッツ	1
計	9

クラウンは、クラウンセダン、クラウンエステート、クラウンコンフォート、クラウンパトロールカー、コンフォートを含む

ディーゼル車のクリーン化

ディーゼル車用新触媒システム DPNR (Diesel Particulate NOx Reduction System) の2003年実用化に向け、開発を推進しました。

DPNRは、2000年にトヨタが基本技術を確認したディーゼルエンジンの排出ガス浄化技術で、排出ガスに含まれる*PM(粒子状物質)、NOxを同時にしかも連続的に浄化することができます。

2002年3月、欧州向けミディアムセダン「アベンシス」にDPNRを搭載、ドイツ、イギリスなど7カ国でモニタリングを開始しました。モニタリングは計60台で実施、1年半の期間をかけて行います。これにより、さまざまな使用条件下における耐久性などの確認を行った上、世界各国への早期導入を目標とした開発に取り組み計画です。

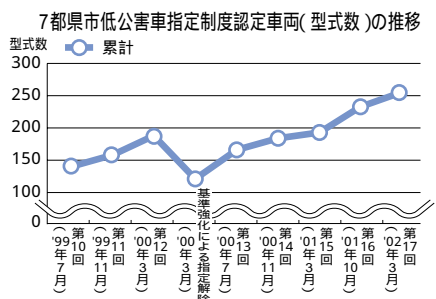
また、東京都条例の既販売車用PM低減装置として、酸化触媒が認定を取得しました。この装置により、PMを約40%低減でき、2002年夏より販売を開始します。

URL DPNR
<http://www.toyota.co.jp/envrep01/pdf/p24.pdf>

*PM : Particulate Matter
スと未燃焼炭化水素が主成分の粒子状物質。

低公害車指定制度に68型式が認定

七都府市低公害車指定制度の2001年度公募へ毎回応募、68型式が追加認定を受けました。累計では256型式に達しました。その他、京阪神6府県市の低公害車指定制度にも応募しています。



URL 「7都府市低公害車指定制度」
<http://www.toyota.co.jp/envrep98/pdf/devdes/dev3.pdf>